

教室対面LIVE講義 Aコース 行政クラス5～8月生

合格目標
公務員試験

教養試験 と 専門試験 が課される行政系(事務系)の公務員を目指す人のためのコースです。

広島県庁
ほか各都道府県職

広島市役所
ほか各市町村職

国家一般職(大卒程度)
国税専門官 A
財務専門官

労働基準監督官 A
裁判所職員一般職

自衛隊(幹部候補生)
その他国家公務員

学費
(税込価格)

	入会金	受講料		教材費
		一般価格	生協価格5%割引	
5月生	30,000円	320,000円	304,000円	67,700円
6月生		310,000円	294,500円	67,700円
7月生		300,000円	285,000円	62,000円
8月生		290,000円	275,500円	59,600円

通学講座限定
受講生サポート

- ・模擬試験(全12回)
- ・クラス担任サポート
- ・人物対策(回数制限なし)

※詳しくは通年講座パンフレットP.6～9をご覧ください。

コーススケジュール

2024年
4月

入門講座

2024年4月～8月

1次試験対策

例えば、「社会科学」。専門科目「憲法」「経済原論」「社会政策」「国際関係」などに繋がる大切な基礎科目です。4月～8月までの5か月間、高卒公務員試験対策講座に在籍し、大卒公務員試験対策の基礎となる教養科目を学びます。

■主な使用教材(高卒公務員対策)



科目

【教養科目】

数的推理・資料解釈 / 判断推理・空間把握 / 文章理解 / 社会科学 / 作文

【模擬試験】全4回

コマ数

59コマ / 118時間

講義時間

夜間部 平日 18:30～20:30

■モデルカリキュラム

時間割	月	水	金
18:30～20:30	文章理解	社会科学	一般知能

2024年
7月

2024年
9月

基礎力マスター講座

2024年9月～12月

人物対策

1次試験対策

例えば「民法」。条文は1050条ありますが、この中で公務員試験によく出題されるのは、その1～2割ほど！公務員試験の出題の要点(よくでるところ)を、受講生が効率よく掴み、理解できるように講義していくのが、基礎力マスター講座です。

■主な使用教材(大卒公務員対策)



科目

【教養科目】

数的推理・資料解釈 / 判断推理・空間把握 / 文章理解 / 社会科学 / 人文科学 / 論文

【専門科目】

憲法 / 民法 / 行政法 / 経済学 / 政治学 / 行政学 / 財政学

【模擬試験】全1回

コマ数

78コマ / 156時間

講義時間

土日部 土曜・日曜 10:00～17:15

2025年
1月

実践力マスター講座

2025年1月～4月

1次試験対策

地方公務員のほとんどが非公開としている本試験問題を掲載した『出たDATA問シリーズ』を使用する実践力マスター講座。身の回りの出来事に置き換えたり、時事と関連づけたりするLIVE講義の力が、大量暗記に頼らない応用力を養成します。

■主な使用教材(大卒公務員対策)



科目

【教養科目】

数的推理・資料解釈 / 判断推理・空間把握 / 文章理解 / 社会科学 / 人文科学 / 論文

【専門科目】

憲法 / 民法 / 行政法 / 経済学 / 政治学 / 行政学 / 財政学

【模擬試験】全7回(最大9回)

コマ数

69コマ / 138時間

講義時間

土日部 土曜・日曜 10:00～17:15

■モデルカリキュラム

時間割	土	日
10:00～12:00	人文科学	憲法
13:00～15:00	社会科学	民法
15:15～17:15	一般知能	経済学

公務員
試験

東京アカデミー広島校公務員講座 合格へ導く5つの強み

1 「法律科目」は双方向性講義で身に付ける

【法律科目】[民法][行政法]は、**公務員試験攻略の重要科目**です！

例えば、「民法」を学んでいくと、「善意」「悪意」「錯誤」など、日常とは異なる意味で使用される「法令用語」に多く出会います。法律科目の攻略には、これらの法令用語の意味を正しく、深く理解することが重要です。そのために、どういう場合に発生するのか、私たちの身の回りに起きている出来事に当てはめて法律のイメージをつかむ学習が、大量の条文を丸暗記する以上の応用力となるのです。



↓ 東京アカデミーでは

「法律科目」講義で、**月2回程度、グループワークを実施しています。**問題選択肢の正誤を受講生同士でグループワークを通して考え、なぜその結論に至ったのか筋道を立てて説明できるレベルを目指します。その後、講師が、私たちの身の回りに起きている出来事に当てはめて説明し、法律のイメージをつかめるよう促していきます。



公務員受験対策は長期戦です。対策に行き詰ったり、仕事や大学との両立が困難になったり、また、模擬試験の成績をみて不安になったり落ち込んだりするの、公務員受験。特に、大学の友人が早々に民間企業の内定をもらっていると、「公務員になる！」と決めた時の強い気持ちを、変わらず持ち続けることが困難に感じる時さえあります。

↓ 東京アカデミーでは

あなたの「公務員になる！」と決めた時の強い気持ちを維持できるよう、様々な角度からサポートしていきます。

ホームルーム(HR)

受講期間中に複数回実施する HR で、受講生が自分の目標と改めて向き合う機会を作っています。今、なにを、どのくらい、どのように進めていけばいいのかを具体的に指導します。

チューター制度

広島校ではチューター制度(合格者による個別学習相談)を導入しています。チューターからアドバイスを受けながら、受講生自身で学習計画や行動計画を作成、見直しできるようサポートしています。

合格者座談会

合格された受講生を招き座談会を行います。合格者がどのように学習していたのか等、様々なお話を聞くことができます。

3 「公務員になる！」その気持ちを応援する、合格サポート

2 「面接が苦手！」が克服できる指導とサポート環境

コロナ禍後の公務員試験では、**人物試験重視**がますます強まった印象です。個別面接、集団面接に加えて、プレゼンテーションや、録画面接動画の提出を課す自治体も増加する中、コロナ禍中控えられていた集団討論も完全復活し、多くの自治体でほぼ必須試験となっています。また、試験当日に初めて出会った、性格も考え方も何一つ共有できていない複数人の受験生と、息を合わせて一つの道筋を作るのが集団討論試験。その中で、自身の公務員としての資質能力を証明しないといけません。



↓ 東京アカデミーでは

●ディスカッション

隙間時間を活用して、受講生同士で、自身の関心ごとや、日々のトピックスから一つ選んでディスカッションを行い、会話力を高める取り組みを実践します。

●合同オンラインミーティング

月に1度、中四国4校舎の受講生による合同オンラインミーティングを実施します。初めて出会う他校舎の受験生との集団討論や、他校舎のクラス担任によるオンライン面接指導など、本番さながらの環境を創出して、面接試験に強い会話力を高めていきます。

●グループワーク

11月以降、月に2回程度、志望先別に集まって自治体の取り組みなどを調べる自治体研究グループワークを実施します。集団討論対策の第一歩は、知識注入と整理です。受講生同士で情報交換することにより、知識を活用する方法を身に付けることができます。

得意科目や生活スケジュール、目指す公務員試験は皆さまそれぞれ異なります。単位をほぼ取り終えている大学3年生と、仕事をしながら公務員を目指す社会人とは、1日に捻出できる学習時間そのものに大差がありますし、また、得意科目、不得意科目は、受講生によってさまざまなので、取り掛かる科目が同じであるはずがありません。さらに、社会経験が豊かな受験生と、そうでない受験生では、必要なアドバイスも異なってきます。

↓ 東京アカデミーでは

学校や仕事のスケジュールなど、受講生一人一人の学習環境をクラス担任がヒアリングして状況を把握し、より具体的で実践的な学習計画指導(面談)を行います。

- 1週間にどれくらいの学習時間を確保できるかを把握
- 模試成績分析および志望先試験分析から受講生が取り組む科目を選定し、優先順位をつけながら、1日の科目別学習時間を設定してオリジナル週間学習スケジュールを作成していきます。
- 学習計画指導(面談)は、11月以降、全8回の模試時にアナウンスを行い、受講生の希望に合わせて何度でも実施します。
- 志望先に関連する具体的なボランティア活動やイベントを紹介



4 「あなただけの学習スケジュール」を作成